



明学だより

第 33 号

2024年 11 月



明石学園分教室に着任して、7 か月が過ぎました。敷地内の木々もようやく色付き始め、緑一色から黄色や赤といった鮮やかな色の葉が見られるようになりました。今年は極端に夏が長かったように感じます。そして暑い日々が続きました。それでも児童生徒は暑さに負けず、日々の練習や努力を積み重ね、体育大会など数々の行事を成功させ、部活動の大会でも優秀な成績を収めることができました。

明石学園は、私が中学校で生徒指導担当をしていた頃やこども家庭センターに勤務していた当時お世話になっていたこともあり、自分が関わっていた生徒が学園での生活により、驚くほどのスピードで立派に成長していく姿を見て、いつも感動してきました。しかし、外部からではその魔法のレシピを詳しく知ることができませんでした。でも教頭として勤務することで、少し分かったような気がします。それはここにいる全員が一つとなり目標に向かって熱い思いを持ち、決してぶれずに努力するということです。何度も何度も挑戦し続けます。ここにいる学園職員、分教室教職員、児童生徒、みんなみんな熱いです。文頭でようやく秋と書きましたが、明石学園はある意味、年中『常夏』でした笑。

今後も明石学園での生活は続きます。どうぞ引き続き厚い、熱いご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

明石学園分教室 教頭 加藤 良光

行事報告

9月下旬から11月までの学園行事を紹介します♪
また、中学3年生と小学6年生が沖縄へ修学旅行に行ってきました！
写真盛りだくさんで掲載しておりますので、ぜひそちらも一緒にお楽しみ
ください♪



体育祭

9月13日(金)体育祭が行われました。明石学園の体育祭は一部のプログラムが、来園者も参加型となっています。綱引き、大縄跳び。こどもたちはもちろんそうですが、なによりも大人が白熱し、大盛り上がりでした♪そして大注目の集団演技。男子は『デンマーク体操』、女子は『創作エイサー』を行いました。時間をかけて毎日コツコツ練習した成果を、この日は全員が全力を出すことができた演技になりました。来園して下さった方々、ありがとうございました！

卓球大会 新人戦



9月22日(日)第40回明石市中学校新人体育大会卓球競技大会がありました。明石学園からは4名の選手が出場。初めての大会でとても緊張しながら学園の門を出て行きました。

学園に来て卓球を始めた4人。ラケットの持ち方から素振り、足の動きなど丁寧に教えてもらい、コツコツ練習を続けてきました。

試合は、悔しい結果になりましたが、全員が途中で投げ出すことなく、次に活かすことができる試合となりました☆



遠足

10月29日(火)中学3年生と小学6年生が沖縄へ修学旅行中、学園に残っているこどもたちで、神戸市にあるバンドー神戸青少年科学館へ行きました♪

あいにく雨が降っていましたが、室内にはたくさんの展示物や実際に体を動かせる遊びもあり、2時間、たのしい時間を過ごしました(^)/

「あれ？これ授業でやったやつやな！」と元素記号表をみて気持ちが高ぶる子。寮の先生からは「これで、理科のテスト満点やな♪」と少しプレッシャーを感じるような声も…(;´ロ`)負けじと「100点取ります！」と意気込んでいました♪

さて、軽食として、近隣にあるIKEAに行き、300円以内でおやつを楽しみました。

IKEAの軽食と言えば、あの有名な50円のソフトクリームと100円のホットドック。「先生～300円でこんなボリュームなおやつできました！」と目を輝かせていた子もいました☆

とても良い時間が過ごせて楽しかったです♪





修学旅行 in 沖縄



10月28日から30日の3日間、明石学園の中学3年生と小学6年生は、沖縄へ修学旅行に行ってきました♪

早朝、早く起きて少し雨の降る中神戸空港へ。初めて飛行機に乗る子どもたちは大興奮でした(^o^)

約2時間の空旅のあと沖縄に到着。「兵庫より暑いな」と思わず言ってしまうほどいい天気でした。

1日目は、平和学習でひめゆりの塔や旧海軍司令部豪へ行きました。現地の人から沖縄戦争についてのお話を聞きました。命の尊さについて考える機会となりました。

あざまサンサンビーチ。10月末なのに沖縄の海は気持ちがいい！！サラサラの砂浜に埋もれてみたり、追いかけてこをしたり。さらに柔道技！？海に投げられている人もいました(;´∀´)怪我無く楽しめたのでよかったです♪

1日目はこれにて終了。かと思いきや、みんなお待ちかねの夕食バイキングです。あぐー豚のしゃぶしゃぶやステーキ。お寿司もありました。美味しいものがたくさんでした☆



2日目、3日目と続き、天気は雨予報が出ていましたが…なんと晴れ間が！！森のガラス館でコップ作りを体験し、美ら海水族館でジンベエザメを見ることができました(*´艸`)

3日目はお小遣いを握りしめて国際通りへ。国際通りでは、班行動をします。昼食は班で決めた食べ物を食べて、行きたいお店をチェック♪ブレスレットや個性あふれるTシャツ。サングラスを2つ購入している子もいました(笑)

沖縄といえば、あの有名なお菓子がありますよね。そう、「紅イモタルト」です！！大きなお菓子御殿というお店が人気のように、オリジナルのトートバッグもゲットできるとのこと。

ほかに、大きなハンバーガーを口いっぱい頬張り、幸せでした♪アロハシャツ着て映え写真も撮っちゃって、沖縄満喫しすぎでしょ！！とても楽しかったようです。

いい思い出ができてよかったです(^o^)/





心理のお部屋



ようこそ！明石学園「心理のお部屋」へ。
 学園の心理の取り組みについて少しご紹介します。
 こどもたちにとって心理の先生との時間はとっても
 大切に、1対1の特別な空間になっています。
 その中でも各寮・部活で行われる、社会スキルをつけるた
 めのSSTを実施しています。ぜひご覧ください。



SST (ソーシャルスキルトレーニング)

10代からは中学校、高等学校への進学、社会における人間関係を広げること、家庭での役割の増加、恋愛関係を育むなど、人生において多くの挑戦課題があります。これら全ての領域において求められるソーシャルスキル(社会生活スキルとも言えるもの)は、多くの発達課題を抱えた若者に欠けている場合があります。何も指導がなければ、社会性の困難さは、うつ病、不安症、社会的孤立、疎外感、非行・触法行為などにつながってしまう可能性があります。



SSTでは適切な友人作りや大人との関わり等、対人関係の安定とトラブル減少を目標に、挨拶や謝罪、お礼等の基礎を学びます。また人との距離感やアイコンタクト、相手の気持ちになって考える方法等、人間関係の継続に必要な応用スキルも練習していきます。



お知らせ

明石学園の基本理念・方針を兵庫県ホームページに掲載しています。また『チャボナビ』にて学園の行事や日常の様子も更新しておりますので、下記のQRコードをスマートフォンで読み取っていただきますと、アクセスが可能です。是非、ご一読賜りますと幸いです。

チャボナビからは、月に1度見学会を実施しておりますので、明石学園にご興味のある方はそちらの方からお問い合わせください。心よりお待ちしております。



〈兵庫県 HP〉



〈チャボナビ〉

【編集後記】

暑い夏が過ぎ、明石学園にも少し肌寒い風が通る季節になりました。

この夏を乗り越えた子どもたちの心と体はまたひとまわり大きく成長したことを感じていただけることを、大変嬉しく思います。

さて、学園では22名の受験生たちが着々と新しい未来へ向けて勉学に励んでおります。保護者・関係機関の皆様には今後ともあたたかいご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(角南 葵)

がんばった。

あー がんばった!!

がんばった!!

明石学園女子バレーボール部監督 上村 優一

さて、第33号の大特集、表紙を飾るのは…女子バレーボール部です。
女子バレーボール部は冬の寒い2月から練習が始まり、暑い夏を経て、10月末までの期間で今年度は締めくくりました。女子バレーボール部は2度の大きな大会があります。10月19日(土)に行われた『兵庫県下児童福祉施設バレーボール大会』。10月23日(水)に行われた『第46回近畿児童自立支援施設女子バレーボール大会』。約8ヶ月の練習期間を経て、感じたこと、2つの大会の思いを明石学園女子バレーボール部キャプテンに聞きました。是非ご一読ください。



『悔しさをバネに。学んだチームワーク!』

私は、今年は2月からバレーを始めて、キャプテンになることもできました。声掛けとかもできなかったけど、去年のキャプテンがしていたことを思い出しながら少しずつは出来るようになったかなと思います。バレーをしていて1番難しいなと思ったのが「チームの雰囲気づくり」でした。失敗が続いたときに、声がなくなって雰囲気も悪くなってしまっていて、それが近畿大会前まで直すことが出来なかったのは、残念だなと思いました。先生が教えてくれたように、自身や楽しむことが大切だと思いました。

養連(兵庫県下児童福祉施設バレーボール大会)の大会では、優勝して、近畿への自信につながる事が出来て良かったです。

1試合目では、大会の前日に言っていたメンタルのことを自分なりに克服できて良かったなと思いました。決勝戦では、淇陽学校と戦うことになりました。今まで練習試合で勝ったことのない相手で正直、とても不安でした。それでもチームが1つになって頑張った結果相手から1セットとることができ、とても嬉しかったです。残念ながら2セット負けてしまって結果は、準優勝でした。優勝できず悔しさもあったけど、楽しんでバレーができて良かったです。

今年のバレーは、キャプテンを下ろされてしまったこともあったけど、それでもみんなが支えてくれたからもう1回なることもできたし、バレーだけでなく、自分の課題にも向き合うことができたので、良かったなと思いました。初めての近畿大会にでることができて良かったし、先生と話す中で、今までしてきた人達は、バレーをやってきて良かったと言っていたと話をしていて、私もこのチームでバレーをして来られて良かったと大会を振り返って思うことができました。

最後に上村先生、保母先生や他の寮の先生、本館の先生、バレーを教えてくれたり、応援をしてくれてありがとうございました。

明石学園 女子バレーボール部キャプテン

繋げ！ その襷を！！



東播駅伝

10月26日、加古川運動公園陸上競技場にて第73回東播中学校駅伝競走大会が行われました。明石学園から6名のランナーが、明石学園の駅伝代表選手として選抜され、出場しました。

9月から始まった陸上部。今回の大会(東播駅伝)と、11月末に滋賀県で行われる近畿児童自立支援施設駅伝競走大会の2つが大きな大会となります。ここでは、東播駅伝1区を走った選手に大会の感想とこれからの意気込みを聞いてみました。

『諦めない。根性鍛えて、自己ベスト！』

10月26日土曜日に6人の選手と、3名の先生方と加古川運動公園陸上競技場へ行きました。自分はこの東播大会は去年も出ていて、その時は学園2位だったので2区として走りました。去年ずっと1位の先輩に追いつくために走っていて、自分の身近にいた陸上の目標でした。去年のこの大会の自己タイムが10分37秒でした。それまでで一番速かったけど、先輩の9分58秒には追いつけなかったです。それから1年経って今年は学園1位として1区を走っていました。競技場については、緊張はなくて大丈夫でしたが、スタート1時間前から10秒前まで心臓がバクバクでした。スタートしてからは前に出ることに必死になっていました。インコースの場所取りはできていました。2番手でスタートしてから後ろの人たちに抜かされていきました。「このままのペースもつかない」と不安になりドングリの道で少しペースを落としました。その次の下り上りは膝を高く前に出すことを考えて、そのあとは前に行くことしか考えていなくて、1人抜いたらさらに前の集団の先頭に出ることを考え、サブグランドを出てのカーブで4人を抜きました。そこからペースを上げて自分の陸上モットーの「気合と根性」でラスト1km走りました。カーブを切ってからラスト400mを走りました。前に1人いて、この人を抜かしたら8位だったけど・・・最後に2区の選手の場所もわからなくて少しロスをしました。ゴール横のタイマーを見たら9分39秒で「よしっ」と思いました。全員が頑張れたと思います。タイムは全員自己ベスト。目標にしていた63分を切り、62分47秒でした。去年の近畿児童自立支援施設駅伝競走大会の1区で修徳、明石が9分50秒だったのでこのペースより速く走れるように、みんなで60分を切れるように頑張っていこうと思います。



第73回東播中学校駅伝競走大会 1区選手

男子陸上部監督 角南 公洋